

相模原市緑区(旧藤野町)における ユズの加工品を使用した地域振興

北相地区事務所

藤野町商工会（相模原市緑区）では、ユズを使用した地域振興を行っており、ゆずポン酢等ユズを利用した商品を加工販売しています。販売は好調ですが、古くから栽培されている樹が多いため、収量が不安定で、原料が不足しています。

そこで北相地区事務所では収穫量の安定確保に向け、平成16年度に県単事業で導入された1000本の幼木や概存樹の管理技術の普及を進めています。

幼木では、適正施肥や生育に応じた誘引等について、既存の成木樹では、隔年結果軽減のための低樹高化や摘果等の普及を図っています。幼木、成木樹とも年々改善されており、集荷量も増えています。

また経営情報研究部と連携をして、収穫時期の検討や加工施設の改善にも取り組んでいます。

ユズは省力的に管理できるので条件の不利な山間部に適した作物です。北相地区事務所ではさらなる省力化を目指し、ユズのジョイント栽培についても検討を始めています。



剪定方法の普及指導



ユズの新植園



ユズの
ジョイント栽培
試験ほ場(苗の状態)

赤色ネットによる微小害虫防除

農業環境研究部・野菜作物研究部

防虫ネット被覆は農薬に依存しない有効な防除手段です。その一方で、その目合いが小さすぎると被覆内部への通気性が悪くなることによる温度上昇、あるいは通水性の悪化を引き起こし、最終的には植物の生育そのものに悪影響を及ぼしてしまいます。このようなことから、これまでの防虫ネットでは、防虫ネット被覆による微小な害虫の侵入防止と植物の生育確保との両立を図ることは困難でした。

そこで、温度上昇を伴わない通水性を確保したネットの目合いで、かつ通常のネット資材のように微小昆虫への防除効果が高い資材を日本ワイドクロス株式会社と共同で開発に取り組みました。

その結果、ネットを赤くすることで内部の植物の生育に影響を与えることなく、アザミウマなどの微小害虫に対する防除効果が高まることが分かりました。

今後の市販化を目指して、防除効果や植物生育への影響等について、更に試験研究を重ねているところです。



防虫ネット被覆試験（左:対照 右:赤色ネット）